

KBルーフ600

■屋根30分耐火構造 FP030RF-0501 FP030RF-0552



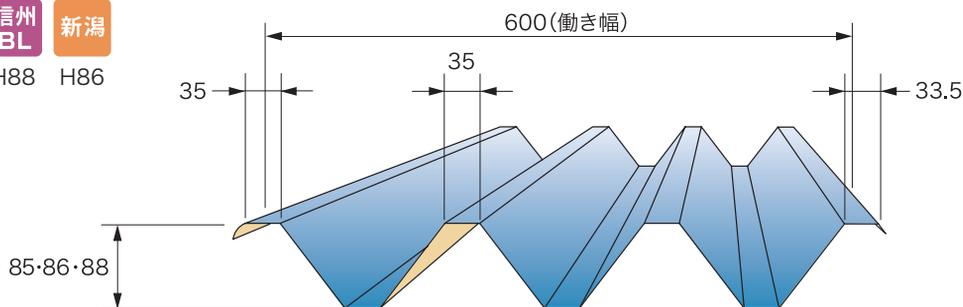
特長

- 重ね式ボルトタイプの最もスタンダードな商品
- 働き600mmで経済性・施工性に優れた商品です。
- 幅広い建物で使用されています。

製品図

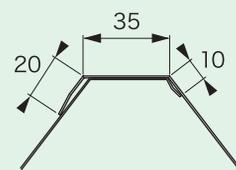
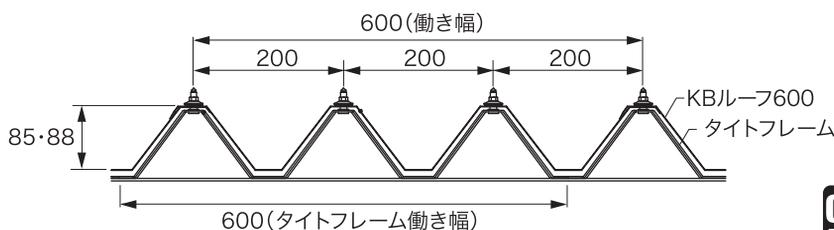
単位:mm

関東 BL
東北 BL
信州 BL
新潟
 H85 H86 H88 H86



施工断面

単位:mm



製品仕様

原板幅	914mm
適正板厚	0.5~1.0mm
使用材料	GL鋼板、フッ素鋼板、アルミめっき鋼板、他
適正勾配	3/100以上
自然曲率半径	150m以上
m ² あたり必要m	1.67m

断面性能

GL鋼板

板厚	単位重量		正圧・負圧同値	
mm	kg/m	kg/m ²	I _x (cm ⁴ /m)	Z _x (cm ³ /m)
0.5	3.77	6.30	62	14.1
0.6	4.49	7.50	74	16.9
0.8	5.92	9.89	99	22.4

※勾配3/100未満についてはご相談ください。

許容梁間(参考)

単純梁・連続梁

単純梁

$$\delta = \frac{5wl^4}{384EI} \leq \frac{l}{300}$$

$$\sigma = \frac{wl^2}{8Z} \leq 1400 \text{kgf/cm}^2$$

片持梁

$$\delta = \frac{wl^4}{8EI} \leq \frac{l}{200}$$

$$\sigma = \frac{wl^2}{2Z}$$

連続梁

$$\delta = \frac{3wl^4}{384EI} \leq \frac{l}{300}$$

$$\sigma = \frac{wl^2}{8Z} \leq 1400 \text{kgf/cm}^2$$

片持梁

●上記の許容梁間は断面性能による計算値に、正圧・負圧に対するタイトフレームの強度を加味したグラフです。●許容スパン長さは、折板山高の25倍以内でご検討下さい。
 ●折板の軒のはね出しは、出来るだけ折板山高の7倍以内でご検討下さい。また、壁際に揺落とし口を設ける場合は軒出しは短くして下さい。●多雪地域や強風地域でのご使用には設計荷重を十分ご考慮下さい。